

館林市教育研究所 適応指導教室 「ふれあい学級」

- 開設 平成4年4月13日
代表者職氏名 所長 小林 秀夫
所在地 〒374-0029 館林市仲町14-1
 館林市民センター内
電話・FAX TEL・FAX(0276)72-0542[事務室]
 TEL(0276)73-4152[子ども相談室・ふれあい学級]

1 運営の目的

不登校の状態を示す児童生徒の悩みや不安を軽減し、自主性、自律性、社会性、耐性等の発達を援助するとともに、在籍校や保護者との連携を図りながら、個に応じて段階的に支援し、児童生徒の学校復帰（再登校）を促しながら、社会生活への適応を目指す。

2 R2年度職員の構成・分担[4/1現在]

所長(兼務)	小林 秀夫	(総括)
指導主事	鯉沼 大介	(指導全般)
教育相談員	増谷 直子	(適応主任)
〃	栗原 昇	(相談主任)
〃	島田 陽子	
〃	川島 三津江	
事務員	大塚 真代	(事務担当)

3 入級対象及びR2年度の受け入れ状況

(1) 入級対象

原則として、館林市内の小・中学校に在籍し、不登校状態にある児童生徒のうち、本人及び保護者が入級を希望し、かつ当該学校長が入級に同意した者とする。

(2) 令和元年度の受け入れ状況[3月31日現在]

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
男	0	0	0	1	1	0	2	1	1	6
女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計	0	0	1	1	1	0	2	1	1	7

*体験入級生も含む

4 開設状況

(1) 開設日時

月～金曜の毎日 9:15～15:00

*祝日及び夏季休業日等は除く。月曜は午前中。

(2) 開設期間 (R2年度) 市内小中学校と同じ

1学期	4月 7日～	7月20日
2学期	8月28日～	12月24日
3学期	1月 7日～	3月26日

(*中3生は3月12日、小6生は3月24日まで)

(3) 主な日課 (9:00～9:15登所)

9:15～9:30	朝の会	健康観察
9:30～10:00	you ゆうタイム	話や読書
10:15～11:00	教科学習	国数英等
11:15～12:00	教科学習	国数英等
12:00～13:00	昼食・休憩	自由時間
13:00～14:45	ふれあいタイム	体験活動
14:45～15:00	帰りの会	振り返り

*木曜の午前はカウンセリング、火～金曜の午後は体験的活動、金曜は登校チャレンジなど

(4) 主な行事 (R2年度)

4月	登校チャレンジ開始 1学期始まりの式
5月	保護者参観及び保護者会①
7月	野外体験① (桐生市青少年野外活動センター) 1学期終わりの式
9月	2学期始まりの式 福祉体験、土器作り
11月	野外体験(東毛青少年自然の家)②
12月	親子でケーキ作り・保護者会② 2学期終わりの式
1月	3学期始まりの式 伝承遊び(昔遊び)体験 保護者参観及び保護者会③
2月	野外体験(市外)③
3月	公民館文化祭へ出品 3学期修了式

このほか、1 Day Walk(年5回)や向井千秋記念こども科学館等で開催される「ROCKET」や「ROCKET Lab」へ参加予定。

5 入級・退級の進め方

(1) 入級の手続き

見学、適応指導教室への申し込み

- ・学校、保護者からの相談



インタビュー(保護者・本人へのカンセリソク)

- ・調査票への記入(保護者)



来所相談の実施(複数回)



体験入級(約1~2週間)・入級申し込み

- ・適応指導教室への入級の是非を判断
- ・保護者は在籍校校長に入級願を提出
- ・校長が承諾し、研究所へ入級願を提出
- ・担任は児童生徒の概要を相談票に記入



入級の許可

- ・入級通知書を在籍校校長あてに送付

(2) 退級の手続き

適応指導教室の活動の充実

- ・教科学習 ・体験活動 ・カウンセリング



学校への近づき体験、仮登校

- ・担任との交流
- ・放課後、保健室や在籍教室等へ登校
- ・授業時間中に保健室、相談室等へ登校
- ・在籍学級生との交流
- ・部分的な教室への登校



自主的な登校の継続



退級申し込み

- ・校長の判断により決定
- ・保護者より研究所長へ退級願の提出
- ・研究所長より校長へ退級通知書を送付

6 学校、家庭及び関係機関との連携

(1) 学校との連携

- 電話連絡、学校訪問等による相談員と学校との密接な情報交換
- 月ごとに、学校へ「ふれあい学級だより」と通級状況を送付(担任から返信)
- 学級担任及び校長等による活動参観・情報交換会の実施
- 登校チャレンジの実施(学期の始めと終わり、毎週金曜日)
- 状況に応じた相談室・保健室登校等への支援
- 学校と連携した進路指導(学習支援)
- 学校配置の相談員との連携
- 指導主事による担任のコンサルテーション

(2) 家庭との連携

- 月2回程度の保護者の定期面接の実施
- 学期1回の保護者会の実施
- 毎月、「ふれあい学級だより」を発行
- 親子での体験活動の実施
(親子野外体験、親子ケーキ作り等)
- 「明日へのいっぽ(不登校を考えるつどい)」の実施(保護者対象年3回)

(3) 関係機関との連携

- 群馬県自立支援アドバイザーの活用
- 野外体験行事における、市内の不登校児童生徒への参加の呼びかけ(学校を通して)
- 邑楽郡の適応指導教室との連携(野外体験行事の共同実施等)
- 適応指導教室運営協議会の実施(年1回。地域住民代表、主任児童委員、学校関係者、学校相談員等で構成)
- スクールカウンセラーとの連携(館林勤務SC連携会議、講座及び学習会等の講師の依頼、コンサルテーション等)
- 学校相談員連絡協議会の実施(スクールカウンセラー、生徒指導担当嘱託員、心の教室相談員との話し合い)
- 群馬県総合教育センター、群馬県市町村適応指導教室連絡協議会等を通じた他の適応指導教室との連携、情報交換
- 必要に応じての専門機関を紹介

7 特色ある活動(*実施計画より)

(1) 野外体験活動(年3回)の実施を計画

(2) 福祉体験活動

車椅子・アイマスクを使って疑似体験等

(3) 「1Day Walk」(年5回・木曜日)

通級生に自然や仲間とのふれあいや、達成感や満足感を味わわせるための一日かけての野外活動。館林市内外散策やハイキング等を通級生の実態に応じて計画

(4) ふれあいタイム(火~金の午後)

調理実習、絵手紙、裁縫、土器作り、軽スポーツ、奉仕作業、市内散策、美術館や科学館見学等の体験活動を実施

(5) 登校チャレンジ(週1回・毎学期始めと終わり頃)

毎週金曜日及び毎学期の始めと終わりに在籍校への登校を促し、学校と連携しながら自主登校できるよう段階的に支援を実施